

令和7年度第1回 高砂市文化振興審議会

公開用

日 時 令和7年8月25日(月) 18:00~

場 所 高砂市役所分庁舎1階 大会議室

出席委員	会 長	田端 和彦	委 員	中野 哲郎
	副 会 長	藤村 清春	委 員	加茂 朋之
	委 員	隈本 昌洋	委 員	松下 尚平
	委 員	天野 富美男	委 員	藤田 義一

欠席委員	委 員	小川 博子	委 員	伊東 節子
------	-----	-------	-----	-------

出席事務局職員

健康こども部長	藤田 将太郎
健康こども部健康文化室参事	三浦 一郎
教育部教育推進室長	吉金 仙人
教育部学校教育室長	平山 健二
健康こども部健康文化室 文化スポーツ課長	井村 欽也
健康こども部健康文化室 文化スポーツ課	
文化会館基本構想担当主幹	澤田 伸也
健康こども部健康文化室 文化スポーツ課	
文化会館基本構想担当係長	麻 敏浩
健康こども部健康文化室 文化スポーツ課	吉川 敦子
健康こども部健康文化室 文化スポーツ課	石井 千草

協議事項

- 1 開 会
- 2 あ い さ つ
- 3 議 題
  - (1) 令和6年度事業結果について
  - (2) 令和7年度事業計画について
- 4 そ の 他
  - (1) 今後のスケジュール
- 5 閉 会

○司会 皆さんこんばんは、定刻となりましたので、まず、オープニングとしまして、謡曲「高砂」全員合唱を行いたいと思います。お手元の配布資料に「謡曲高砂」の詞章がありますので、ご覧ください。全員ご起立願います。

(謡曲「高砂」合唱)

○司会 ありがとうございます。ご着席ください。

○司会 ただ今より令和7年度第1回高砂市文化振興審議会を開催いたします。開催に先立ちまして、当審議会の公開についてですが、「高砂市文化振興審議会の運営に関する規程」に基づき、公開とさせていただいておりますが、本日傍聴希望者はございません。

委員の皆様におかれましては、お忙しい中ご出席いただきありがとうございます。

それでは、ここで、本日の資料の確認を行いたいと存じます。

それでは、お手元の資料の確認をお願いします。

本日配布させていただきました資料が

- ・委員席次表
- ・会議次第
- ・審議会委員名簿
- ・謡曲「高砂」の詞章
- ・(資料1)令和6年度事業結果(事前送付)
- ・(資料2)令和7年度実施計画書(事前送付)
- ・(資料3)各委員からの意見・質問一覧表

こちらは事前に委員の皆様からご質問をいただき、そちらについて各課からの回答をまとめたものでございます。

そして、「第2次高砂市文化振興基本方針 実施計画の体系」と題しています、「A4」1枚ものの資料。

また、文化会館の説明資料として、

- ・高砂市文化会館の建替えスケジュール(案)「A4」1枚ものの資料
- ・高砂市文化会館のあり方(案)の冊子が1部

以上となっております。皆さまお揃いでしょうか。

○司会

それでは、当審議会の開催にあたりまして、都倉市長より挨拶申し上げます。

○市長

本日は公私ともお忙しい中、高砂市文化振興審議会にご出席をいただきましてありがとうございます。

委員の皆様におかれましては、平素より本市の文化行政をはじめ、市政全般にわたり、ご理解ご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

また、本審議会におきまして、終始熱心なご審議を賜り、市の文化振興のために貴重なご意見をいただいておりますこと、重ねてお礼申し上げます。

加えて、本日の会議が最後のご出席となる委員の方もおられますが、これまでの間、高砂市の文化の振興に多大なるご尽力をいただきましたことに、あらためて深く感謝申し上げます。皆さまから頂いた知見やご助言は、今後の文化行政の大きな礎となります。

さて、すでに皆さまもご存じのとおり、本市では先般「高砂市文化会館の建替え」を、発表いたしました。

現在は、将来を見据えた文化の拠点づくりに向けて、基本構想の策定に向けた検討を進めているところです。

本日は、この件についてのご説明も致しますので、委員の皆さまから忌憚のないご意見を賜り、今後の文化行政のより良い方向性をともに考える場とさせていただきたいと考えております。

結びになりますが、本日の審議が美り多いものとなりますよう祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしくお願いいたします。

○司会

ありがとうございました。  
それでは、引き続きまして事務局職員の紹介をさせていただきます。

健康こども部長 藤田 です。  
健康文化室長 三浦 です。  
教育委員会 教育部教育推進室長 吉金 です。  
教育委員会 学校教育室長 平山 です。  
文化スポーツ課 文化会館基本構想担当主幹 澤田 です。  
文化スポーツ課 文化会館基本構想担当係長 麻 です。  
文化スポーツ課 吉川 です。  
文化スポーツ課 石井 です。

最後になりますが、本日司会進行を務めさせていただきます、  
文化スポーツ課長 井村 です。どうぞよろしくお願いいたします。  
(職員紹介)

#### ○司会

委員、そして伊東委員、小川委員より本日欠席の申し出がございました。  
本日の会議ですが、出席者8名、欠席者2名により、審議会規則第5条第2項の規定により、過半数  
が出席されているため会議が成立していることをご報告いたします。  
今後の議事進行は、審議会規則5条第1項により会長にお譲りしたいと存じます。会長よろしく  
お願いいたします。はい。

#### ○会長

それでは、次第により進めさせていただきます。  
議題の(1)令和6年度事業結果について、事務局から説明願います。

#### ○事務局

資料1でございます。説明に入るまでにまずは、本日お持ちいただいております、資料1、そして資料  
2につきましては、第2次高砂市文化振興基本方針に沿う形で、資料1には令和6年度の事業実績、  
資料2には令和7年度からの計画という形でまとめております。  
それから、本日お配りしているこの資料では一部赤字表記になっている部分がございます。これは  
事前に委員の皆様にお配りしたのちに修正があった箇所を示すものでございます。主な修正理由は  
表記誤りのよるものと、表現があっていなかった部分の修正によるものでございます。よろしくお願  
いいたします。

それでは、(資料1)「令和6年度事業結果」をご参照ください。

令和6年度事業結果について施策番号順に提示しております。

再掲も含めた全事業項目数 346 項目に対し、S 評価が 9 項目、A 評価が 304 項目、B 評価が  
25 項目、C 評価が 5 項目、評価なしが3項目となっております。  
それでは、主なものをご説明いたします。

1ページ、111-01 番、高砂学ですが、令和6年度は、活動編6回、講座編2回、寺子屋編5回、謡曲編  
4回を実施しました。講座編は「伝記から読む宮沢賢治 堀尾青史の故郷で」というテーマで図書館  
と合同で、信時哲郎先生に、「現代のお米づくりとお米事情」をテーマに前橋 瑞紀に講義を行って  
いただきました。

続いて 111-03 番、高砂こども狂言ワークショップについては、認定こども園等を対象に 12 回実  
施し、園児 535 人、先生も含めて 600 人が参加しています。

続いて 2 ページ、111-08 番、市民ギャラリー「あいぼっと」の活用です。これは目標 10 団体の貸  
し出しに対し 20 団体という実績で「S」評価となっております。

111-09 番、文化会館展示スペースの活用について昨年もこの会議でアイデアをだしていただき、  
文化会館とも協議を行ったのですが、貸出金額の引き下げ等について合意を得られなかったことも

あり、「C」評価としております。

次に、4 ページ、111-22 番についてきましては工楽松右衛門旧宅運営管理事業についてですが、来館者数が目標に満たなかったため「B」評価です。しかし、評価説明にもあるように、周辺エリアでのイベント開催や飲食店の新規出店など、地域活性化につながっています。次に、5 ページ、112-03 番、高砂市美術展でございますが、昨年から会場を大きく変更し、東館一階において、美術展の受賞者展、写真、彫塑工芸の展示を行いました。作品数は昨年度から15点増え、美術展の認知度が高まったとともに、東館1階の新たな活用方法を市民の方に知っていただく機会にもなったと感じております。

次に21ページ、211-09 番、文化連盟等への補助金ですが、市制 70 周年記念事業実施のため、通常の補助金に加え、4 団体に対し、合計 210 万円の補助金を交付しました。各団体が補助金を活用してゲストを招致し、また吹奏楽団については中学生との合同演奏を実施しました。

次に28ページ、212-30 番、高砂市役所ロビーコンサートですが、令和6年度は出演者の公募を行い、合計で11回実施いたしました。毎回80人から100人程度の参加者があり、来場者からも好評いただいております。

資料3で事前に各委員様から意見質問頂いたものは各課からの回答をまとめているので参考にしてください。

簡単ですが、説明は以上でございます。

#### ○会長

今いくつか特徴的なところを、ご説明をいただきました。評価についての背景も含めて、今ご説明いただいたわけですが、私も昨年度の結果と見比べながら、どこが違ったか見ておりまして、評価については昨年度より上回っているから S 評価というわけでもなく、各課で評価にバラつきはあるんですけども、目標に到達しなかったから B 評価であるとか、昨年度よりも実績が上がったから A 評価だとか、いろいろな評価の軸がありますけど、みなさんも見ていただいて、この評価が妥当かどうかも含めて、ご意見ご質問いただければと思います。

どこからでも結構でございますので、番号やページを先に行っていたらと皆さんわかりやすいと思いますので、ご協力をいただいて、ご質問ご意見賜りたいと思います。事前にご意見ご質問をいただいているんですが、これにつきまして、この回答では納得がいかないとか、この質問の趣旨と回答が一致しないんじゃないとか、ご質問された方からも結構でございますので、もしそこら辺を指摘していただいたらよろしいかなというふうに思います。

そこが多分わかりいただけと思うので、先ほど申し上げたように、もっと詳しく説明して欲しいなということがあれば、ご発言いただきたいということです。

#### ○委員

各委員からの意見質問を見ていただいて、資料 1 で関係するところの高砂市美術展は、私ちょっと関係してますが、美術展の来場者は現在パンフレットの残数で確認しているとあります。子供を連れて来ていたりする人もあるんで、もう少し正確な数が出るといいんですが。

それから資料1で 321-03 の 6 番目案内版は西暦がなく和暦のみでわかりにくいということなんです。私も見て回るんですけど、英語版で since1765 というように表記してありますが、和暦と西暦があった方が、いいと思いました。

日本人が、和暦があったほうが時代を特定しやすい、理解しやすいと思いました。

次に、331-24、質問票一覧表の 7 番目ですが、新人研修が 1 回あり、研修で情報発信の機会もあるということではあるんですけど、高砂に市役所の職員が高砂以外からも来られていますが、高砂に誇りを持って情報発信してほしいので、一回だけではなくもう少し、高砂の歴史や文化に触れる研修を増やしてほしい。

それから、質問の 8 番目が、ロケ地は内部ロケであって外部ロケがないということなんです。非常に高砂はロケ地として使いやすい形、俯瞰してしまうといういろいろ余計なものが入るんですけども、景観的にはつかいやすいものがあるかなと思いました。

それから、工楽松右衛門住宅がね、集客によって評価はよくないんですが、もともとごみ屋敷がね、ああいう綺麗な形になっております。高砂町に 300 件ほど古民家があるなかで、そのうち 30 件ほどが飲食店になって、みんな高砂に工楽邸ありといって、工楽松右衛門さんがいたって、非常に高い評価を受けてます。

またこれから入江邸の方に手を入れていきますけども、そういう面で歴史を大事にしながらかつて

点づくりを考えてほしいなと思います。もう1点、市民プール、高砂文化会館、生石研修センターが廃止になります。廃止廃止でつぶす方をメインになっておりますけど、じゃあ資料館はどうするのか、教育センターの中にね、今小さくはありますけど、やっぱり文化会館のなかに入れ込むことも含めて、文化を興隆するという視点をもってそういう動きになっていったらなと思います。以上です。

○会長

ありがとうございました。

今いくつかこういったご質問もあつたんですけども、例えば、最初の美術展の内容ですとか、新人研修、非常に面白いご指摘だというふうに思うんだけど、お聞きしますが、内部ロケではなく外部ロケっていうのは、資料1の412-18 成果実績のほうでフィルムコミッションのホームページや市ホームページにおいて、ロケーションの紹介やロケーションマップの掲載を行ったというかあるんですが、なかなか、外部のテレビとかが入っていったっていうのは、これではよみとれないんですけどね。

○会長

ありがとうございました。

それと、工楽松右衛門住宅が今回、目標人数に達しなかったからB評価とありますが、この計画で町を再活性化することによってかなり街中への影響が大きかったとか、その部分をもっと評価したらどうかというふうに思います。

あと最後、公民館の廃止ですが、公民館の廃止に伴って交流拠点が失われていくなかで、今後の交流のあり方というのも考えていかなきゃならない。

例えば先ほどの計測法を変えるっていうのはどうでしょうか。

おっしゃったように美術展の来場者ももっと多いはずだっていうのは、確かに評価を高めるうえで重要だと。

○事務局

美術展ですけれども、今現在、美術展に来ていただいた方は、2階入り口と1階入り口の2箇所から入っていただけるような形でして、2階の入口から入ってパンフレットを渡す、また1階の入口から入ってパンフレットを渡すことで、どこでカウントするのが一番正解なのかっていうところがあって、パンフレットの残数で数えるのが今のところ一番、いいんじゃないかっていうふうに、永いことしてたんですけれども、反省会の中でも、パンフレットだけだったら、本来の人数じゃないんじゃないかという意見もございまして、今回からまた再度、カウンターでカウントしていく方式に戻そうかっていうところも、考えているところです。

なのでまた、ぜひ今回の美術展の来場者数は、期待していただければと思います。

○委員

ちょっと補足という形でさせていただきますが、本来は美術館なんかに行かれたらわかると思うんですけども、入口が1箇所なんですよね。ところが高砂市展の場合、入り口が何ヶ所かございます。その時にどうしてカウントしたらいいかなっていうのは我々も、考えてたんですけども、本来なら1ヶ所でカウントしていけばいいんですけども、ちょっと人の流れとか考えた場合、それが難しいなということで、そしたらパンフレットをお渡しした数で、確実な数ではないですけど、大体大まかなところがね、わかるんじゃないかっていうことを、運営会議で考えまして、今の形にしたんですけども、何かいい方法を考えていきたいと思っております。

すいません、ちょっと私の方からご質問させていただきたいんですけど、道路わきにベニヤの掲示板等でもってという話がございますけど、これも私もこの会議でもずっと言い続けてるんですけども、どうも看板掲示がなかなかできないっていうのはなぜなのかな。いつも言ってますように、ちょうど給水塔の下辺りに大きな掲示板、どんな形にせよ掲示板作って、今はこれをやっていますよ、でその次はこういうのがありますよという、ポップを加えた形の、掲示をすれば、今文化会館こういうことやってんだな、次にこういうことがあるのか行ってみようかなっていう文化会館に足を運んでくださる市民の数をふやすことができるだろうなと思ってるのに、それができてないんですよ。ちょっとそこを何とかしていただかないと、前もこの会議で、文化会館で一番目立ってのはのーちゃんののぼりだって、話をさしていただいたんですけども、本当正直な話、これ後で出てくると思うんですけど、文化会館の稼働率なんか見ましても、非常に少ない。あれだけの立派な施設がありながら、稼働率が少ないっていうのは、やっぱりそういうところもあるんじゃないかな。いつも僕らでも使わせていただくんですけども、なんか今日駐車場が広いから、何かやってる。何がやってるのって、聞いてああそうなのかってのがわかるような場合が多いんで、やっぱそれは、次の新しい文化会

館構想にも関わってくると思うんですけど、やっぱりここをもう1回考えていただかなきゃいけない。

それと、この間の文化会館の方とお話して引かなかったんですけども、今年高砂市展は、今も説明ありましたように東館一階のスペースで、受賞作家展もやらせていただきましたが、一回使ってみていな、と僕も思ってたので、使わせていただいてよかったと思うし、いい展示ができたと思うんですけども、あそこを今度ちょっと展覧会で使いたいと思ってパネルを使いたいと、事務所のパネルをあの下で使わせていただけないかというお願いしたら駄目ですと言われたんです。理由をきいてもちゃんとした回答が返ってこなかったです。東館のなかの備品であるのに、それを2階から1階まで下ろせない、そのところ引かかって、それが余計、文化会館の施設を使いにくくしているというふうに思っていて、そのあたり回答いただけたら、なんかその文化会館自身にも使ってもらおう、使いやすくしようっていう姿勢があまり感じられないのが、ちょっとこれ私個人の意見なんです。ちょっと気になってるんですよ。看板の件も含めて。それと資料1の中の、2ページ、111-09のC評価の提示内容を新しくするため、文化会館との協議がまとまらなかったため、新しく変えることができなかった。まとまらなかった理由って何かあるんですか、そのあたりのご説明をいただけたら。

○会長

文化会館についての質問3つただけたんですが、もしご回答があれば、案内板を整理しようとか、今あるものを改修はできないんだ、ということならできないということとか。それから新人研修にしたいけど、例えばもっと、文化の研修して欲しいというのもできるかどうか、そのあとちょっと先ほど委員の文化会館の現行に対する今のご意見ですね、お願いします。

○事務局

まず、6番目のふるさと文化財の案内版について、これについてはちょっと回答には書いてもらってますけど、今後新規で設置する場合は表記の方法を併記で考えておりますので、今もう設置するものについては今のままで、今の段階ではいきたいというふうに思っております。

次に7番目の新任職員研修なんですけど、まち歩きを1回だけなんですけど、研修で情報発信というのがあるんですけど、新人職員さんに、自分で、高砂市の良いところを見つけてもらって発信するという研修もやっておりますんで、年に2回は、やっております。

それと先ほど委員からありました、文化会館の案内の掲示板なんですけど、おっしゃる通り以前から指摘を受けておりました、こちらの方も指定管理者の方になんとかできないかということはおっしゃっております。ただ今年度も文化会館指定管理から、新たな案内板を設置するスペースを道路側につくりたいという話もあったんですが、先ほど市長の話があったように文化会館を建て替えるっていう話があったので、今の段階でそこに投資するのはどうかなというところで、今回案内板を設置するには至っておりません。ただ今すでに、例えば美術展でしたら、看板を設置しておりますので、看板を今の階段の横ではなしに、前に出すっていうのもちょっと検討しないといけないのかな、と思っておりますんで、その辺については指定管理者と調整して、できるだけ道路際に何とか設置できるように、調整したいと思っております。あと、文化会館のパネルですよ。指定管理から聞いているのは、パネルを1階まで動かしたときに、案内表示を壊されたりとかもあったようで、エレベーターにもパネルは乗らないです。スロープに回って、おろしてもらうようなことにもなりますんで、そのあたりで多分、指定管理の方が、断ったのかなというふうに思っておりますんで、その辺についてはもう一度今後協議していきます。

○会長

文化会館の展示スペースについて詳細を教えてくださいということですが、

○事務局

展示スペースの金額がかなり高額だったんで、あそこを安くして欲しいというふうに、こちらの方からも指定管理には言っております。ただ指定管理もあそこを今のままではなく、新たにもっと綺麗にして、今の値段でいきたいということと言われてしまったんで、そこで協議がまとまらなかったというところなんです。

ただそこを綺麗にするにも、また今度建て替えの話が出てきておまして、それでちょっと今現在は綺麗にはできていないんですけど、その点でちょっとまとまらなかった、というところではないです。

○会長

今後交渉する予定があるわけですか。

○事務局

ここについては今後改修を進めないといけないんで、安くできるかどうかちょっと調整はします。展示内容について長年同じものがかかっているという指摘も以前あったんですけども、この度、新しいものに変えるように準備をしておりますので、お待ちください。

○委員

事務局の説明で文化会館の建替えに伴いコストパフォーマンスが合わないって言われて、市民の方が見やすい簡単な看板を考えるということで、前回話があったと思います。建て替える流れがあるにしても、それまでに期間があるはず、年数あるんだから、それまではぜひそうしてほしいし、先ほどの展示飾り、ずっと飾りがかわってなくて、事務所の横も5年近く同じような感じで、前のがわずかに変わって、みたいなことだけなので、もう少しこう市民会館が使いやすい、新しいのが入ってる、新しいステージがある、魅力あるものっていうのをね、それはもうちょっと積極的にスピードをもってね、考える必要がある。前回も看板の話が出てね、同じ協議になるのはよくないのでね、そこはお願いします。

○会長

建替え計画がしっかりしてくると、どこまでご提示できるかっていうのがまた出てくると思いますが、指定管理者ができるものっていうのとそれから文化会館としての機能を維持し、さらには、PRや、集客を増やしたり、価値をさらに高めるために市がどこまで負担するのかっていうのは、ちょっと今の段階では言いにくいために、先ほどのようなことだと思うんですけども、それがあ程度定まってくれば、建て替えだから、投資しませんって言ったって、それは限界があって、やっぱり修繕もしなきゃいけないし、修復もしなきゃいけないですし、維持していきなきゃいけない部分もあります。それがうまく作用すれば、集客をふやせれば、新しくなるところでも、それらの方々がまた来てくれるわけですので、今の段階では、投資ができにくいっていうのはわかるんですけども、もう建て替えだから一切投資しませんということがないようにして欲しいということをご理解いただければと思います。

また、投資金額に関しては、そんなに大きな金額かけなくてもできることから始めたらいいんじゃないかっていうのが、当委員会の意見ですので、お考えいただければと思います。

○委員

パネルがエレベーター乗らないっていうお話でしたけど、乗ると思います。支柱にパネルをつけたままだったら載せにくいと思うんですけど、支柱とパネルをバラしたら、パネルは持っていけると思います。それと、警告灯をこわしたかなんか知らないんですけど、それは館の方で、ものを貸し出すときのチェック体制をきちっとやっておけば、何ら問題ないと思います。1例あげましたら、僕らは、この間改修ありました美術館、天王寺の美術館、あそこをお借りしたんですけど、あそこでもまず前に、こっちの担当者とかこの担当者が2人で会場を全部見てまわって、床、壁面等に傷がないかチェックを行います。その上で、借りる側の担当者がサインします。1週間会期が終わった後、同じように向こうの担当者とかこの責任者が2人、会場を見て回って、床壁面等、汚れ、歪みがないかっていうのは、大抵の美術館をすべてチェックします。そういうチェックを会館の方で徹底すれば、何ら問題はないんです。

これをやってないっていうのは、会館側の怠慢ではないかと私は考えております。

○委員

ごめんなさい。補足の意見に繋がってくるんですが、加古川の総合文化センターを、毎年1週間ほど借りてるんで、その時も委員が言われたような形でしてますから、また私兵庫県のいなみ野学園でも100枚近いパネルを動かしてるんですが、施設に傷がいたりした場合は、壊した人が負担するといったことで、だから貸さないのではなく、貸すけれど壊した場合は、壊した人が負担するみたいな格好で、使いやすいことを考えて欲しいなと思っております。

○会長

ありがとうございました。

先ほど申し上げましたように今のちょっと文化会館のあり方についてのご意見、今後の在り方もあると検討するとしても、やっぱり改善できることは改善するということは、ちょっと考えていただきたい。

○委員

33ページの222-13のところ、学校クラブ活動についてという項目があるんですけども、私学

校運営評議員という役もさせていただいております、その中にも議題としてあがったりですとか、保護者の方からの質問であったり、そういう計画の方が耳に入ってきたりはするんですけども、このR9年ですかね、部活動が、外部に完全委託するという形をとる中で、スポーツであったりとかは、外部講師、野球であったりサッカーであったりとかっていう、そういう委託先がつけやすいとは思いますが、例えば吹奏楽であったりとか、文化系のところで、そういった委託先がなかなか見つけにくい、どうしたらいいのかなっていう意見が、今後子どもたちがどう学べるのかな、なんていう意見が出たりしているんですけども、そういう中で、市として、教育委員会として、何かそういう委託先を探すというか、そういうことっていうの準備っていうのは、何かできているんでしょうか。

○会長

ありがとうございました。

貴重なご意見で、多くの自治体は、結構悩んでらっしゃるとか。華道とか茶道みたいな、家元があるところはできるんですけども、おっしゃった吹奏楽が難しいんじゃないか、或いは頼むとするとめっちゃ高く高いんじゃないかみたいな、このご意見聞きたいところです。

○学校教育室長

おっしゃる通り、吹奏楽は一つ、とても大きな課題です。他の文化部としては、公募っていう形でご自宅でもできる場合もあるんですが、吹奏楽は楽器の移動だとか、場所そのあたりが非常に難しいです。その場合に、学校を使うのか、セキュリティ面はどうだろうか。ここに外部指導者が入った時の施設であるとか、そういうのはどうなるかというところで、本当に今現在やってる部活動の顧問の先生がその外部指導員となるのか、施設面の扱いをどうするのか、というところを今検討中でして、他市町を見させていただいても、なかなか、きっちりと継続して行われるっていうところは少ないんですね。今の段階では、土日ちょっと、どこかの学校を使って、合同で練習しましょう、というのがほとんどでして、子どもたちが活動できるような形をどうしていけば、一番いいのかなというところを検討中というところの回答にさせていただけたらと思います。

○委員

ありがとうございました。本当にそう遠くない、時に移行していくっていう中で、今おっしゃられた練習場所であったり、講師のことも、たくさん問題になることもあるかと思うんですけども、なるべくいい条件で、子どもたちが学べる、楽しめるっていう場を作っていただけるように考えていただければと思います。

○会長

例えば、どうなんでしょう。吹奏楽だけでなく、美術部だとか、それからコーラス部だとか。例えばそのあたりはどうでしょうか。

○学校教育室長

文化連盟の会長様もそうですし、スポーツ協会様とも協力させていただきながら、いままでにない部活動が地域クラブとして動き出そうと、ご協力願っているところです。

○会長

文化連盟様におかれましては、各団体におかれましては、いろんな交流ができることで、新たな参加の皆様ですとか、刺激にもなると思う。中学生相手に指導するのは大変な話なので、一概に生きがいにできるかっていうと、難しいと言われるのは重々承知してはいるんですけど、やはりうまくその教育と文化、地域文化を融合するようなことがあればと思ったりするんですが。

○委員

夢の代の補助金の方で、ヴァイオリンのことで今年から動いているんですけど、長年吹奏楽の顧問をしてきて、問題点が多すぎるので、吹奏楽が駄目になったときという最悪のことを考えて、別の手立てはないかなという思いで動いています。本当に全体的に学校側の協力を得られれば、何とかわかるのかもしれないんですけど、もし何かトラブルがあったら、もうそこで立ち消えてしまう可能性も含めて、高価なものを扱いますし、

文化部のなかでは楽器の運搬等々で、けがに繋がる場面っていうのは、文化部の中では危険性が高い部活だと思います。それから、この加印地区は、兵庫県内でもかなり競争の激しい地域ですし、時間的なこととか、いろいろクリアしていかないといけない問題があるかと思っておりますので、以上です。

○委員

さっきの話ですけども、美術協会としてもその話を教育委員会の方から、お聞きしまして、こないだも会議ひらいて、どうですかっていうことで各部、日本画、洋画、工芸、写真の各部門の部長の先

生の話をしていただいているんですけども、結論としては今の状態では難しい。  
特に文化部の場合、いつどこで活動するのかという、学校を借りるにしてもさっきありましたように土日だったらセキュリティの問題があります。それと、備品はどこまで学校の備品が使えるか、子どもたちどこに集めて、どういうふうに活動していくのかという、単なる絵画教室ではないんですね。

そのあたりの問題がいろいろ出まして、できましたら各部それぞれの問題点、こういうところはどうすればいいのか、どうクリアしていけばいいのかと、そういうまず問題点の洗い出しからやりましょうかというの、美術協会としては、話をしている途中でございます。

まだ結論が出ておりませんが、他市の事もいろいろ聞いて、神戸の方でコベカツですかね、やってる神戸の方に聞いてみてもやっぱり運動面、スポーツ面ではいけても、やっぱり文化面はいろんな問題があって難しいよねっていうのは、お話を聞いて、やっぱり一緒だねっていう話を一度しました。

○会長

情報ありがとうございました。よろしいですか。

要するに、先ほど言ったように、これは文化振興審議会ですけど、柱の中に教育っていうのが出てきておりますので、そこでどう貢献できるかっていうのは考えていただいているということでよろしいですか。

○学校教育室長

今、ご意見いただいて非常にありがたいなと思いながら聞かせていただいております。

こういう課題をどうクリアするのかっていうところが一つ、またいろいろご意見いただいたり、ご協力いただく場面がでてくるかと思えます。担当の方から直接お願いすることもあるかと思えますが、どうぞよろしくをお願いします。

○委員

私も地域講師の推進委員の1人になってるんですけども、文化連盟を全面的に応援させてもらう形で、令和10年の4月からね、高砂市が一斉になる。それは体制が整っていても整っていなくても、一斉にという形で、2年ぐらいに一斉になりますんで、ただ私は少しその委員会でもお話をさしてもらったんですけど、すごく言葉が地域移行できれいな言葉を使うんですよ。実際、今教員が見ている方が充実してるし、手厚い部分はあるんだけど、働き方改革の流れでそうせざるをえないわけです。

あんまりこう綺麗な言葉で地域移行も進む、と書いてある。移行せざるをえないが、できるだけ充実した形でね、例えば文化連盟の会の中でも、邦楽の副会長さんがコーラスを指導できるという、実際に学校で教えたりされている。そこら辺の情報はこちらにもあるので、私はプラスで情報提供していきたいと思えますので、よろしくをお願いします。

○会長

ありがとうございました。

本音ベースで話す方がいいと思えます。学校の先生方はそんな簡単に地域移行だってできるのかっていう意見も聞いておりますので、ほんとに本音ベースで先生方と市側とでしっかりと基盤を作ってもらえればと思えます。

○委員

全体的なことなんですが、評価についてだいたいみんな評価Aで書いてあります。これ、現状維持っていうのは、もうマイナスになってしまうんで、どうせならここをこうしたらSじゃないかということ、それを出していかなと、これもう現状維持、去年やってよかったような、来年も良くなってしまうんで、全くこれ成長しない、レベルアップしないという、そういうふうになりましたので言わせていただきます。商工会議所の方で、市制70周年お仕事発見フェスタをさせていただきましたが、ものすごい人が来ました。文化会館なんですが、何時間も子どもたちを待たせてしまって大反省だったんですが、でも、これだけ来てくれたから、次はこうしよう、ああしよう、という反省があったんで、そういうことは大事だなとか、反省っていうのは、よかったことも反省ですけども、悪かったことを変えていくというのも大事なかなと思えます。それと先ほど文化会館の看板のことがあったんですけど、総合運動公園もいっぱい人がきて、何してんのかさっぱりわからなかったんですね。私が理事長になってから、10何年なんですけど、これやっぱり地域の人が、なんでこんな渋滞してんねや、というふうに腹立ったらあれかなと思って、手づくりで簡単な看板なんですけど、今日は柔道大会やってます、とかちょっとした看板へ書いたら、やっぱり市民の人は、今日はやってんねんなあということでちょっと

納得するのかなと、そういうふう思ったんで、本当に簡単な看板ですけども作らしていただきました。参考にさせていただいたらいいかな。

○会長

ありがとうございました。どこまでこれ見直しているのかな、というのは気になることです。やはり今先ほどおっしゃっていただいたように、会議前に頼んでですね、各課に書いていただく際に、反省点であるとか、現状維持でもどうしたらよくなるか、とか目標をもうちょっと高くもったらどうかとかコメントをいただくと、もう少しわかりやすいかな。今は無理だと思うんですけども、そういうのご検討いただけますか。おそらく、去年の内容の文書も出して今年も評価してくださいという。だから、もう同じだったら変えずに、変更したとこだけ、数字だけを書いたりするんですけども、もうちょっと手を入れていただけるといいのかなあ。やってることを駄目だということでは全然なくて、いいところを伸ばしてあげたいっていうのが、おそらく思いたと思いますので、そういったことが、わかるように書いていただければと思うんです。

○委員

補足になるかもわかんないんですけども、やっぱり表が見にくいんですよ。市で統一されてる表なんですかね。

例えばね、7年度を見てね、これが伸びてるのか伸びてないのか、全くわからないんです。なので、6年度のやつを全部書き込んだんですよ、そしたら抜けてる項目もありますよね。例えば、缶詰とか、抜けてるのがあるんですけども、この表を見たときに、6年度から7年度にかけて伸ばしてるよっていうのは、調べないとわからないので、比較ができないんですよ。それを全部書いてきたんですけど、ほとんど現状維持なんですよ。ところがこれ、書き込むのに2時間ほどかかるんです。作るのね、作るのは本当大変と思います。

でもね、これを皆さん、委員の方がどんな変化があったか、明確だったらいい。これちょっと横に、6年度の実績の横に7年度の計画があれば、1枚で委員の皆さんもわかるわけです。

111-03で子ども狂言ワークショップもそうですけど、これ6年度は14回、7年度は、希望するすべての園で実施、この変化はどういうことかなって、今6年度の表に書いてもらっていると、なぜこう観点なのかということが、すぐ考えられるんですね。この比較の表を1枚でできるような作り方っていうのをお願いしたいです。

そしたら、今、委員がおっしゃった、改善する視点が考えやすくなる。データを整理するだけでも時間がかかってしまうから、何個かありましたけれども、そういうところと、再掲というのも真ん中におくのやめてもらいたい。これ以前なかったと思うんですけど、これ事業名の横に丸がついとったから1回でわかるんです。真ん中でなので、2度手間になるんですよ、視点が。1番は、昨年6年度と7年度の比較の資料を作ってほしいです。

○会長

7年度の意見も聞きましたので、次の話も含めて、ご説明いただいて、またこの委員会からのご意見をいただきたいと思います。それでは、資料の令和7年度実施計画をお願いします。

○事務局

令和7年度実施計画について、主なものをご説明いたします。

令和7年度は、資料2の実施計画のとおり進めてまいります。主なものをご説明いたします。

1ページ、111-01番、高砂文化教室「高砂学」今年度は活動編6回、講座編3回、寺子屋編5回、謡曲編4回です。謡曲編においては、例年の座学と謡いの講座に加え、今年度は市民の方のご協力もあり、高砂神社の能舞台の上で謡曲を披露し、舞の体験を行いました。また、講座編についても既に7月6日(日)に開催しました。委員にご紹介いただき、「今日(こんにち)の「高砂」の基礎を築いた二人の武将～池田輝政と本多忠政～」というテーマで、高砂市観光交流ビューローの方に講座をしていただきました。申込み開始時から反響が多く、また若い方や遠方の方の参加もあり、有意義な講座となりました。

同じページ、111-07番、高砂市美術展については、今年度からインターネット申込みを導入し、従来の申込用紙での出品申込みに加え、インターネットで手軽に申込みができるようにする予定です。これにより、出品にかかる郵送料等や手間が減り、出品者の負担も少なくなると考えられます。

同じページ、111-13番、病院、福祉施設の活用で、今年度は9月に入院患者、外来の方、お見舞いの方向けに、文化スポーツ課主催の院内コンサートを実施します。出演者は以前市役所のホールコンサートに出演いただいた、コーラスグループです。

2ページ、111-23 市役所ロビーコンサートの開催について、今年度は議会の月を除いて12回開催予定です。本日もホールコンサートの開催があり、大学院生によるヴァイオリンの演奏を行いました。また、ピアノの活用についても現在運用方法や規程の作成の最中で、近いうちに試行予定です。文化会館においても、昨年閉園した荒井幼稚園のグラウンドピアノを東館の1階ホールに設置しております。今年5月には、本日欠席されていますが、小川委員によるグラウンドピアノのお披露目コンサートを開催しました。6月よりストリートピアノとして毎週土曜日と日曜日に自由に演奏できるようにしてあります。

以上、主だった項目のみ説明させていただきましたが、再掲も含めた全項目 335 項目となっております。

簡単ですが、説明は以上でございます。

○会長

説明はおわかりました。ご質問等あればお願いします。

○委員

令和 6 年度から令和 7 年度にかけて外れている項目が 11 項目あるんですね。令和 7 年度廃止を記載されている項目があります。また、令和 6 年度には記載されており、7 年度で記載がなくなっている項目がありますが、これはどこで取り決めていますか。

○事務局

令和 6 年度時点で廃止となっていた項目について、各課に調査したところ令和 7 年度においても廃止で回答がありましたので、令和 7 年度の表の記載からは削除させていただきました。事業を廃止するかどうかというのはもちろん、担当課によって決めています。

○会長

どうして廃止されたのかっていうのは、担当課によって違うので今ここでご回答は難しいですね。

○事務局

そうです。

事業を廃止する判断は担当課ですので、ここではちょっと難しいです。

○委員

高砂神社の観月能も年度から廃止になったのに記載を削除してないわけでしょ。

○事務局

それについては、令和 7 年度から廃止になったので、それがわかるように削除していないわけです。

○委員

令和 7 年度は廃止で、令和 6 年度の時点で 7 年度の予定で廃止となっていたわけですね。

○事務局

削除したものについては、令和 6 年度時点で担当課から削除してくださいと依頼されていたものですので。観月能については、昨年度は実施していて今年度は実施しないという、その違いです。

令和 6 年度に実施して、7 年度廃止になっているというのが観月能のだけなんです。令和 6 年度の時点でやっていないものは、表から削除、令和 6 年に実施しており、令和 7 年から廃止したものについては、7 年度の計画で廃止という形で上げています。

○会長

よろしいですか、掲載の仕方のルールとして。

○委員

項目内容の言葉が変わってるものもあるよね。例えばね、112-07 ふれあいの祭典は

○事務局

それは単年度事業なので、今年度はないです。

○委員

後援申請の申請等については、6 年度は 3 つの項目に分かれていたけど、今年度は 1 つにまとまっているということやね。

○会長

枝番のつけかたが、6 年度と 7 年度で違うんじゃないかということですね。

○事務局

削除した分の繰り上がりがありますので、令和 6 年度と 7 年度で番号が違うところはあります。

○委員

ルールわかりました、ありがとうございました。

○会長

昨年度はね、令和 6 年 7 年の事業において、いわゆる表の配置をね、第 2 回ではこういう形で作ってくださるので、おそらく次回この形で出てくるのではないのでしょうか。

○委員

今年度第1回目の会議で、去年度と今年度の比較っていうのが明確にできひんかったら

○会長

今すぐに修正できないので、またご検討いただいてそれから、今回行ってる重要性は先ほど申し上げたように、6 年の事業を振り替えてその後は何をどう生かすかをやって参りますので、委員がおっしゃったようにちょっと見やすさの工夫をいただきたいと思います。その時はやっぱり枝番をね、きちっとした方がいいかもしれません。番号で確認しますので。これは、今ここではどうしようといえませんので、よろしいでしょうかね。

では計画につきまして

○委員

参加委員の皆様へ副議長という立場からお願いなんですけど、実はこの意見質問一覧表は全部私が書いてます。これは市の人にも事前にきちっと検討してもらうために、みなさんできるだけ出していただきたい。

そして質問意見一覧表の裏側 10 番のところ、これ教育委員会にも聞きたいところなんですけども、高砂子ども狂言ワークショップが、子ども園関係の方にはいろんなジャンルで出てくるんですけども、もっと理解できる小学校中学校、市内の高校の中にもね、もう少し広げていって高砂の魅力っていうのを、また高砂に住みたいと感じる理由みたいなのを、教育の中で打ち込んでいただけたら嬉しいと思います。

2 点目なんですけど、企業との連携ってよく言うんですけど、同時に企業の目的に沿ったことがある場合は、支援金ではないですけど、商工会議所の委員を目の前に言うんですけど、企業の補助金っていうのも、あってもいいかなというふうに思いました。

やはり、我々いつも夢の代補助金で、なくなったら県の補助金をとりにいくんですけど、もう少し地元であげられるものがあるかと思ったりしております。あと小さいことなだけでロビーコンサートではなくホールコンサートですからね。以上です。

○会長

どうもありがとうございました。

ちょっと 2 点がちょっと難しいので 1 点目だけまずご説明、お答えいただけますでしょうか。

子ども狂言ワークショップ、こどもという言葉を使ってるから、中学生は使えないとか、わからないですけど、いわゆる狂言ワークショップをもう少し、世代を広げられないかっていうことなんですけども、狂言だけじゃなしに、高砂の歴史についてもね。

○学校教育室長

ワークショップに関しましては、ここにも意見が書いてありますように、検討して参りますということで、そのあたりは文化スポーツ課と協議をさせていただこうと思います。よろしく願いいたします。

○会長

小中学校はきちっとしたカリキュラムがあるので、なかなか取り組みにくいというのがおそらく現状、多分委員もわかった上でおっしゃると思うんですけども、その上でやはり、この振興計画の中にも、意識の醸成というのが入ってるわけですね。次世代を担うこども世代の意識醸成とか、ですからそのあたり、文化スポーツ課と検討をいただいてから、おそらく全員が参加っていうのが前提であると思うので、やりにくいっていうのはあるんですけども、例えば、夏休み中のサマースクールみたいなイメージで行ってみるとか、いろんな方法があるかと思うので、ちょっとまたご検討するようお願いしたいと思います。

○委員

たくさんやれというわけではなく、各学期で 1 回とか、地域に興味づけをするっていう、そういう授業があってもいいのかなと思ってます。最近 NHK のニュースで地元学習みたいなのが取り上げられるんですよ。そこでやってるのは実践ですね、今そういう時代、大事な時代かなって思ったので質問上げさせてもらってます。以上です。

○会長

企業からの支援はちょっと決めるにはこれ、少し重いかなと思うので、すいません。  
多分皆さんが本当に大きな関心である文化会館のことなんですけれども、本日もいろいろなご意見のなかで、文化会館のあり方という議論が出て参りました。  
これについてまず資料の説明も、事務局からいただきまして、またご意見を賜りたいと思います。  
失礼します。

#### ○事務局

文化会館の建替えスケジュールということでございますけれども、まずは本日お配りしております、「高砂市文化会館のあり方(案)」をご覧ください。

新聞報道等により、ご存じの方もいらっしゃるかと思いますが、高砂市民病院の移転候補地に文化会館の現敷地が選定されまして、同時に文化会館につきましては、現行の整備計画の見直しとともに、機能や役割を整理しながら「建替え」に向けて検討をすすめているところでございます。

病院の移転候補地に選定されたことは、結果的に文化会館の整備計画を前倒しする形にはなり、事業推進のスピードは変わりましたが、今後の文化施設の整備にあたっては、以前から検討を進めておりまして、まだ(案)がとれてはおりませんが、このような形で考え方をまとめております。

この「あり方(案)」は、これから基本構想策定に向けて準備を進めるにあたってベースとなっていくもので、背景や目的、現状と課題などをまとめた資料になります。スケジュールの説明に入る前に、まずはこちらの方を説明したいと思います。

1 ページの背景と目的をご覧ください。当市では、「文化振興によるまちづくり」を基本理念とし、市民一人ひとりが豊かさを実感できる持続可能なまちの実現をめざしており、そうした中で「高砂市文化会館」は、文化教養の向上及び文化交流の促進を図り、市民福祉の増進への寄与を目的に設置され、これまで音楽をはじめとした舞台芸術の鑑賞、地元の活動団体や学校等による音楽や演劇、展示等の発表、文化芸術活動や交流の場として、また市民と文化芸術をつなぐ中心的役割を担う施設として長年にわたり多くの市民に親しまれてきました。

しかし、現在の文化会館は、本館については、昭和44(1969)年に開館してから56年、東館については、昭和59(1984)年に開館してから41年が経過し、いずれの施設も昭和後期に整備された施設であり、構造や設備の経年劣化や老朽化に加え、バリアフリーや多様化する市民のニーズに対応出来ておらず、音響や照明などの機能面でも専門性の高い活動が困難な状況となるなど多くの課題を抱えています。また、文化会館が整備されてから現在まで、人口減少、少子高齢化、情報関連技術の進展、ライフサイクルの多様化などにより、文化を取り巻く環境も大きく変化しております。

これらの状況を踏まえ、本市では、将来の文化会館のあり方について、令和3(2021)年3月に策定した「高砂市公共施設全体最適化計画」による、延床面積の30%縮減を目標とした施設整備への取組みと「高砂市文化振興条例」および「第2次高砂市文化振興基本方針」に基づき、単なる貸館施設でなく、市民の創造的な活動と交流の拠点として、また多様な文化資源を未来につなぐ文化拠点として、文化会館の機能や役割を整理し、将来にわたって持続可能な施設となるよう今後の在り方を再検討することを目的として考え方をまとめました。

次のページの第2章においては施設の概要が記されておまして、3ページには現在の東館の「高砂市福祉保健センター」から「高砂市文化保健センター」、そして、保健センターの機能移転に伴い令和5年度からは本館とともに一体運営を行うことなど、施設の変遷を記載しております。

4ページの第3章においては平成30年からの利用状況の推移をグラフで表し、主だったホールや展示集会室などは次ページで平成30年度と令和6年度で比較をしております。

(大ホール、中ホール、展示集会室、多目的室2について利用件数、利用者数、利用率が減少しております。)

続いて6ページの第5章におきましては、本館、東館、それぞれの課題でございます。

本館においては、背景と目的のところでもございましたが、建築から56年が経過し、老朽化が進んでおります。平成12年には大規模改修も行い、機能維持を図っておりますが、エレベーターの設置やバリアフリー化が施されていないことや、現代的な公演や創作活動に対応しづらい設備となっております。また、第3章の利用状況の推移でも見られるとおり大ホールを利用する団体の減少に伴う利用数や観客数が減少し600人を超える規模の利用が減っております。

東館については、昭和59年に「高砂市福祉保健センター」として建設されてから、41年が経過しておりますが、耐震性能などの建物の構造上の問題はございませんが、当初は「福祉保健センター」として建設されたこともあり、利用者の要求水準を満たさない課題が多く見受けられます。また、本館

とは建物が分かれておりまして、東館自体には管理事務所がないなど施設管理、防犯面での課題もあります。稼働率も低い状態です。

次の第6章においては、今後についての取組みや方向性、留意事項をまとめております。

1の取組みとしましては、第2次高砂市文化振興基本方針や、公共施設全体最適化計画の現状や課題を踏まえ、令和8年までに建設手法や機能の複合化などを検討し、利用状況やニーズに合ったホールや各施設の最適化を図ったうえで、令和18年度までの延床面積30%縮減を目標とした施設整備に取組みます。

そして、2の方向性です。現代の文化芸術活動は、人が集い、展示発表の場を必要とした従来の文化芸術活動に加え、インターネットやスマートフォンの急速な普及、新型コロナウイルス感染症の出現による社会変容などを踏まえた、デジタル技術を活用した新たな手法による文化芸術活動が展開されていますが、現文化会館の設備では、対応に限界があります。

建物の構造上、本館にエレベーターがない、舞台面積の狭小などにおける、課題解決のための環境整備も求められています。

これらのことから、未来の文化芸術活動を築いていくためには、時代の変化に対応した機能を持つ新たな可能性の生まれる文化の拠点として、賑わいの創出、学び、健康増進、笑顔で人が集える市民の交流の場として、単なる貸館としてだけではなく、多機能かつ柔軟な文化芸術を支える拠点としての整備を検討してまいります。

次のページ、最後の3では、施設整備を進めるにあたって、十分留意することとして、今後の基本構想にもかかってまいります。整備方針や財源の確保、関係者の合意形成、市民ニーズの把握についてなどをまとめております。以上が現時点における「高砂市文化会館のあり方(案)」になります。繰り返しになりますが、これはまだ(案)でございます。そして、ここからスケジュールの方になってまいります。

基本構想策定に向けて、まずはこの「あり方」を基本コンセプトとして、まとめていくために、まずは今年度こういったことの検討が必要で、どのように進めていくのかをシンプルにスケジュールにしたものが本日配布しているもうひとつの資料でございます。

まずは、今年度、令和7年度で先ほど説明した「高砂市文化会館のあり方」を完成させてまいります。現時点での内容は先ほどの説明のとおりですが、少なくともこの「あり方」を完成させるためには、○印のついている部分ですね、利用状況についての調査や、関係団体等への聞き取り、各種のデータ調査を実施しながら、建替えの候補地案や、新施設の規模や機能、そして整備費・運営費の財源低減方策について方針決定していく必要があると考えております。令和8年度においては、この完成した「あり方」を基に市民からの意見聴取、文化連盟加盟団体等の関係団体からの利用者アンケートなど実施しながら基本構想を策定します。そして令和9年度ではこの基本構想を実現するための具体的な計画策定に入ります。令和10年度以降にはこの計画に沿った設計、工事施工という流れになります。

ご注意いただきたいのは、担当としましては、今後文化会館の存在しない空白期間をできるだけ短縮させるために、最適な事業手法を探りながら進めていく必要があると認識しております。例えば、令和10年度以降にでてくる解体工事などは、病院の構想や計画にも影響されます。大枠ではこのスケジュールになりますが、全くこの通りというわけではなく若干の変更はあり得るという風なご理解をお願いします。

○会長

ありがとうございました。

今ご説明があったわけですが、何かご質問、ご意見がありましたらどうぞ。

○委員

今の意見いろいろいただいたんですけども、まず文化会館を中心に、まちづくりをすることができるのかということを考えてもらってですね、文化会館の上にマンションをつくったり、一大町を作ってしまったらどうやと、例えば、マンションの下に、文化会館が来るなら、曾根駅と宝殿駅の間に駅作ろうとか、そういうふうに考えてみますと、高砂市はどんどん人口が減るから、文化会館も小さくするんやとなると、ちょっと何か寂しいなというふうになっちゃうんですけども。それと、いろいろ人が集まる場所にするというのは、大賛成で、甲子園球場で考えると、野球がない時はだれもきませんよね。ただ、札幌のエスコンフィールドは、野球がない時でも同じくらい人が来るんです。こういうふうに複合型にして、野球のないときに、人が来る。コンサートがない時も人が来る、そうい

うふうにして、ちょっと考えてもらったら、非常にこう明るくなるんちゃうかなあというふうに思たんですけど。それと、今治市に、FC 今治というサッカーチームができましたね。元日本代表の岡田監督が中心になってサッカーチームを作られました。そこも球場を持ってたんですが、それを複合型の球場にしたということで、多分、今治って高砂市とそんなに人口的には変わらないと思います。そういうので、人がものすごく集まって、ものすごく支持を受けていると岡田監督の講演で聞いたので、出来たらそんなことも参考にしてもらえたらなあと思いました。

○会長

ありがとうございました。

○委員

大変興味深い方向性を考える重要な意見でした。この文化会館は、作るにあたって、これを最初から指定管理っていうことを考えますか、なぜ、こんな言い方をするかという、街づくりをするための拠点たる文化会館が指定管理ではあまりにも弱いことが実際に起きると思います。加古川総合文化センターなんて、あそこだけ、ポツンと実際に浮いてしまう。熱意がないからというのがあったりするんです。

○会長

あの、建て替え後の話ですよ

○委員

はい

○会長

建て替え後の運営方式については、ちょっとまだ検討中ではありますが、もし、何かありましたらご説明ください。

○事務局

文化会館の在り方は先ほど、司会のものからも説明がありまして、委員からも文化振興まちづくりについてご意見いただきました。

また、委員のほうからは、今後の運営形態どうするんだとご質問がありました。

この文化会館に付きましては、市民病院の建て替えに合わせてというわけではなく、前々から文化会館が築 60 年近く迎えて、建て替えの時期に来ているというところで、計画があったんですが、もう少し時期が後になるかなというところですが、市民病院の建て替えに合わせて前倒して文化会館についても建て替えていくんだと市長が判断されましたので、このような形で進めようとしております。

先ほど委員からありましたように運営形態につきましては、今後、どのような形でしていくかは、決まっておりません。今、現在、指定管理ということですが、建て方によっても様々でございまして、例えば民営とかでも運営形態が変わってくると、また、そういう民間の力を借りるところで様々な文化会館の役割を考えられるかなと思います。委員からありましたように、ショッピングモールなどと一緒に展開する複合型にすることで街の賑わいや集客も得られるという考え方もありますけれども、高砂市のほうでも皆さんご存じのように高砂駅の南側のサンモール跡地というところで、そういった考え方もございますが、今後、山陽電車の立体の話もありますが、まだまだ先の話であります。まずは文化会館について、現在の文化会館の建て替えという話で進めようと思っておりますので今後そういったことも含めまして、様々な基本構想を作る中で場所、建て方、機能、設備というのも皆様方からご意見を頂きながら市民全体で考えながら進めていきたいと思っております。

これは、先ほど、委員からもご意見頂きましたが、文化会館は、街づくりの拠点としての考え方がありますから、単なる施設整備というだけでなく、文化の振興という文化のまちづくりということで考えていきたいと思っております。

ありがとうございました。

○委員

出来ましたら、文化会館先に作って、市民病院はあとにしたら、市としては発展するかなと思います。

○会長

あの、先ほど会長から言われました運営方式、おそらく、市の財政も余力がないですから、それを考えると委員の考えが出てくる。委員が気にされているのは本来、文化会館というのは市民との交流の場であったのが貸館利用に特化してしまうと本末転倒だよねというのはあると思いますので、この辺りは、これからおそらく、関係団体との調整でヒアリングがあったりして、きちんと意見を収集し

ていきたいなと思っています。

委員がおっしゃっていただいたように、建て方とか考え方は、この場だけの話なので、それから、当然、市民病院も公立病院も経営が厳しい中で具体的にどうしていくか課題になっておりますので、ご意見として伺わせていただきます。

○委員

この中にも、意見徴収、市民、文化連盟加盟団体利用者アンケート等と書いてございますが、使う側の立場に立った文化会館というものにしてほしい。展示スペースにしても多目的でこういうものを作ればいだろうというものではなく、使う側の立場に立った計画を考えてほしいです。

○委員

令和3年の最適化計画で延べ床面積30%削減ということですが、これは根拠がありますか？

この人数は、使用率、稼働率といいながら、この方向性を通常見ると、方向性ですか？デジタル技術を活用して新たな指標を提供して新たな設備を、連携されるような説明をしていくっていうので、30%削減して望んでいるのは市民のためとなり、どんな根拠で30%減らしているのか？この、30%というのは本館と東館と両方の延べ床面積ですか。それとも本館ですか？

○会長

公共施設最適化計画というものがあまして、これは学校、市民プールなどそういうものを含めて、全体で出すもので、各市で作りなさいって話になっているんですが国としては人口減少を考えると3割くらい減らせるよねって言って来ているわけです。ですから、だいたい、どの自治体さんも3割減で設定されているわけです。どこを減らすのかはこれから考えていかないといけない。そして公共施設をどう、運営していくのかは、指定管理がいるのか、あるいはPPP方式を使って修繕していくのいいのか、全部考えて仕組みの中に入っているということで、具体的に、今、文化会館を3割削減するのかってところまでの議論はしてなかったと思います。いかがでしょうか？

○事務局

委員長がおっしゃる通り、市全体での30%削減というのは計画の中であげております。学校でありますとか、総合運動公園のスポーツ施設などございますけど、文化会館につきましてもやはり文化会館本館、東館というところで二つにわかれておまして、今後人口減少する中で様々な将来的なニーズに合わせて形での規模というものを考えていかないといけない。そういったことも含めまして、委員からもありましたように、利用者が使いやすい、利用ニーズに合った、市民の文化活動の場でありますとか、こういうのが単なる貸館というのがありましたけど、貸館だけではなく、一部の方が団体の方が交流をされていますが、年齢層が高いかたが使われていることが多い。

若者が伝える場所、文化活動の場所というのにすればもう少し積極的な活用ができるのではないかと云うところもありますので、建て替えをきっかけに、高砂市の文化、街づくりっていうのが発展すればいいのかなと考えています。

そういったところも含めまして、機能、設備というの、かなり古くなっておりますので今後そういった、いろんな世代の人が使いやすい市民の方が使いやすい、集えるような場所になるような、施設となるように今から検討していきたいと思っています。今後も皆様の意見を聞いてまいりたいと思います。よろしく申し上げます。

○委員

文化会館に関して、30%減は今のところわからないということですか？市全体として30%減を言ってきていることで、ここに書かれていると、読み方としては、30%減になってしまう。文化会館に関しての中身に対して、体育館で考えてみてください。30%減になったら、体育がしにくくなる子供の人数は少なくなりましたが、人数割りで体育館の面積決められたら体育ができにくい、できなくなる状態になる。と言う高砂市の過去の事例があるから、確かに、人口減は予測されている。6千万人になると、1億2千万人がね。先々ですけど、先生が言われている通り、使う身になっているのか？市民の身になっているのか？

そちら側でこの人数人口になってるから、この面積でいいわけではないのでそれで、なんで30%って出てきたんかって、そういうような読み方になってしまったので申し訳なかったですけど、そのあたり、市全体での工夫をすると聞いたので、ちょっとホッとをしましたけど、なんとか、工夫をお願いします

○会長

数字が独り歩きしないように、必要な説明の時はしっかりと、これは最適化計画における30%減で

あり、この施設での話ではないということは、しっかりとご確認いただければと。

それから後は、人口規模で面積を決めるというのは、国の方向性が実は、ちょっと出てたものですから、それが多くの自治体で、30%減と、それについて明確な根拠を出しているかということ、今回正直な話、国のほうが言ってきたときに国が3割減にしろとは言っていない各自治体で決めてくださいと言いながら、3割ぐらいたよねと言ってきてる。

先ほど委員がおっしゃったようなまちづくりの拠点にするとか、文書の中にもありますが交流であるとか発信力ってことを考えて、機能でって考えています。それから、使う側の事も当然出てきますのでそのあたりのことを考えてですね、はい、ありがとうございました。

○委員

失礼します先ほどから言うようなこともあれなんですけど、使う側の立場になって作っていただけたらなと願うところです。私も、どちらかというを使う側で、文化会館にプレーヤーで舞台に立ったこともありましたしそういった部分では使い勝手悪いなあと思うこともありましたので、そういう部分も考えながら、どんな方々がどんな使い方をしてるか、誰がどのように使っているのをしっかり整理されて、考えていただいて、今後、市民がどんな方に使いたいかってということも考えていただきながら、新しい建物を作っていただけたらなと思います。

あんまりいろいろ織り込みすぎると、なんかわからんようになるっていうのもあるかと思うので、こういうビジョンでこういうふうやっていくっていうのをしっかりと見極めて形を作っていただけたらなあと思っています。

○会長

ありがとうございました。

まあ、ビジョンという言葉がでてきました。

○委員

さっきの利用状況のところなんですけどまた私の話がダブるかわからないですが、さっきパネルの移動が難しいって

話をさせていただきましても、単にその使用状況がこれだけ悪いんじゃないしに、悪い状況をつくり出してるのは、何なのかというところ、僕、今、ちょっときついなあと思いながら職務怠慢という言葉もさせていただきましても、やっぱりそのところを考えていかないと、単に数字上で、稼働率が悪い悪いって言うと、悪くしてるのはあなた方じゃないかっていうのは、逆に私なんか言いたいんです。

パネルを一つ挙げましたけども、それなんかも使ってみても、本当に、あなたがた市民の皆さんに文化会館を使ってもらおうと思ってる？っていう、こういう質問を逆に最近は文化会館に言いたくなって思ってるんです。

だからこの稼働率の悪さっていうのはそんなにうのみにできて、やっていいものかなっていうのもちょっと疑問に思ってるんだけどそのあたりも考えていただきたい。

○会長

ありがとうございました。

稼働率確かにその是正改善、おそらく毎回実施されてると思いますので、もちろん老朽化した施設の稼働率を上げるのは、結構難しいところがあって、だからこそ、今おっしゃったように、利用者の声に耳を傾けるのは大変大事ななあというふうになっております。

要するにお客様サービスでは、お客様から苦情は天の声であるというふうによく言いますように、指定管理者も民間事業者ですから、今まで聞いてると、なかなかそこになるかなと思ったりしてるということでございますので、指定管理者と常日頃、おそらく、お話をされてらっしゃると思うんですけども、こういう意見、できるだけ反映していきたいと思っています。

すいません、ちょっと私の司会もオーバーしてしまって申しわけございません。

文化会館につきましても、ご意見をいただきましてありがとうございました。こういったご意見を踏まえてですね、これからも、これちょっとタイトだと私個人的にはもうスケジュールというのはね、もっと、これはちょっとしんどいかなと思うんですけども、しかし、方向性は出てるわけですから、これに、沿って、しっかりとやっぱり努力していくしかないんですけども、今日のご意見をいろいろと参考にして、いただいたらと幸いです。

どうもありがとうございました。

それで、事務局の方から議題その他について、今後のスケジュールだとか、はい。

○事務局

今後のスケジュールについてですが、説明させていただきます。

令和7年度の第2回文化振興審議会については、11月下旬頃の開催を予定しておりますので、よろしく申し上げます。

○会長

それでは本日の予定がすべて終了ということでございますので、司会進行を、事務局の方へお返しします。どうもありがとうございました。

○事務局

本日は大変熱心な審議をいただき、ありがとうございます。閉会に当たりまして、委員よりご挨拶を頂きます。

○委員

実は今日委員が入ってこられて、どのくらい時間がかかるのか、という話で一時間では終わらんやろうけど、一時間半くらいかなと言っていたら二時間かかりました(笑)ご苦労様でした。

先ほど、委員の方にもお願いしましたが、こういう意見があったことはあらかじめ上げてもらっていたら市の方も検討してくれますので、こうやって出すにあたって各部、課回しますのでいい協議ができたと思います。

ありがとうございました。

これで閉会いたします。